



心の通り路

認承時地区拡大委員長 清瀬二郎

私は神奈川県藤沢市鵠沼松が岡に住っております。昭和三年神戸から東京へ転任してからの住居であります。鵠沼の地は今日では最早東京のベッドタウンとなってしまいました。が移転しました当時は全く湘南の保養地区でありました。勤務先は勿論東京丸の内でありまして毎日通勤しますのに所要時間は一時間半位はかゝりました。現在は東京迄は一時間位で通われますが、当時は汽車を石炭焚きの汽関車が引っ張っております。煙を吐いて走っております。それでも、家族の健康が大事と考え辛棒して、通いつゞけまして今日に至っております。

その汽車による通勤が湯河原ロータリークラブ誕生に関係が出来るとは縁と言うものは不思議なものであります。

小田原にロータリークラブが出来ましたのは昭和29年だと覚えておりますが、その認証状伝達式に私も参加致しました。天野さんはその小田原クラブの会員であられました。お仕事の関係上天野さんはよく湯河原から東京へ通われました。それで湘南電車で時々一諸の車輛で乗り合せお近か付きになり楽しい時間を持つことになりました。或る時天野さんと乗り合せました時、湯河原は小さい町ですが小さい町でもロータリーが出来てよろしいでしょうかとお尋ねがありました。天野さんは小田原クラブの会員でありましたが、お仕事が湯河原の地でありまし

たから当然のお考えであります。当時はガバナーは中村米平さんでありました。私はその前任の柏原さんがガバナーであった時から柏原さんに教えられて新クラブ設立の手続を手伝っておりましたので、小さい町でも結構ですよお手伝いしましょうと言うことで中村ガバナーに連絡し手続を進め湯河原と言う新クラブが出来ました次第であります。

その湯河原ロータリークラブが、今日とうとう20周年を迎えられることになりまして感無量であります。段々盛んに活動しておられ湯河原南クラブと言う子クラブまで出来ておりましたまことにお目出度い事であります。

ロータリーの活動の底に流れるものは親睦と言うことであるのは申す迄もありません。今日では湘南電車はグリーン車でも満員で以前の様に隣り合せに席を取り話し合う楽しみを持つ事は困難であります。20年前天野さんとロータリアン同志として親睦を深め心が通いあって居たことが良い結果を生み出したことを嬉しく思っております。

天野さんは今でも時々私の東京南クラブの例会に御出席下さいますので湯河原クラブは私にとってなつかしいクラブになっております。

今後の御発展を祈り上げます。



創立20周年をお祝して

R. I. 元副会長
パストガバナー 湯浅恭三

おめでとうございます。心から御祝申し上げます。20年といえば永い年月ですが、過ぎてしまうと、もう20年過ぎたのかと今更のようにその早いのに驚かされます。創立のお祝に伺ったときのことをよく覚えております。非常な御盛会で出席者が会場外まであふれていました。丁度私は神奈川県を含む関東五都県と沖縄からなっていたR.I.第358地区のガバナーとして出席させて頂いたと思います。湯河原は有名な温泉の町ですが、人口も多くななく職業の種類も多くない町に設立されたクラブが、将来どの様に成長されるかを非常に興味をもって見守っておりました。会員の皆様の御力により、その後健全な成長と活動をつづけられ、目出度く先年創立15

周年のお祝をなされ、更に湯河原南クラブという子クラブまで御出来になり、この度20周年を迎えられることは本当にお目出度うございます。その間ロータリーの社会でも、地域社会においても、また国際事業でも、立派な御活動と御奉仕をなさったことと感謝し御喜び申し上げます。

ロータリーの生命は申上げるまでもなく永遠でございます。奉仕活動も限りがありません。会員の皆様、此上ともに御自愛の上夫々の御職業の上でも、ロータリー活動の上でも一層の御活躍と御発展をお祈り致し、同時に本日の創立20周年の祝賀会が盛大に終始されますように心からお祈り申し上げます。



◀創立時の中村米平ガバナーのスピーチで特に印象の深いのは、「ロータリアンは亡者になっても互に助け合って幸である」というお話です。翌年度のガバナーがこの段上の湯浅ガバナーで、認承式当日のお姿です。公式訪問だけでなく、何回もお世話になったので印象が強い。会場設営には八亀昌美さんや稲葉隆さんが骨を折ってくれました。



湯河原RC創立20周年を祝して

創立時分区代理 岩崎裕倅

湯河原RC創立20周年を心からお祝いたします。昭和37年4月20日金曜日、この日は穏に晴れてその頃、湯河原の金曜日の昼下りは静かで時々バスの通る音が遠く聞える以外は野鳥の鳴く声が椎や檜の古木の繁った合間から聞えて来る流石由緒ある古い温泉の風影であると思われました。古木の繁みを後に、大きな瓦屋根の重なる天野屋の奥まった会議室の窓には、春の日は燦々と輝くどっしりと落着いた室で、野鳥の鳴く声を聞きまことにのどかな気分で創立総会が開かれた。私は今日まで25回の創立総会に出ておりますが、湯河原RCの創立総会のような環境の中での創立総会は他に例がありません。その環境にぴったりの雰囲気か醸成されて、中村ガバナー、宮坂特別代表が中心になって順序よく総会が進められ、すべてが了り天野会長の就任の挨拶、中村ガバナーの挨拶と関係者への労いの言葉があり、柳瀬PGの祝辞があった。この中村、柳瀬のお二人の立派な指導者もすでに故人にられました。柳瀬さんは私の関係したすべての会合には必ず出席して頂きました。当日は佐久間PG、清瀬拡大委員（後のガバナー）小田原RC会長、幹事が出席されて創立総会は無事終了して湯河原RCが誕生した。

この年度、私は8つのRCを推進しましたが湯河原RCは7番目の誕生になります。又佐久間さん、清瀬さんがご健在でこの20周年を祝って頂けることは大変慶しいことです。

小田原RCの皆さんは大変慎重で、中村ガバナーも私も少ししびれを切りました。私が特別代表を指名しようかと申上ると是非にこのことで、湯河原に宮坂さん、箱根に今井さんを指名したら皆さん大賛成でそれ以来湯河原も箱根も順調に進行して、湯河原は四月、箱根は五月創立総会の開かれたことは20周年に当り懐しい思い出です。湯河原RCは創立総会の環境と雰囲気をも基調にするかのように、天野会長の洗練された指導と運営により、まとまりのある又正しく積極的に行動する楽しい例会の開かれるRCとして、私に深い印象を与えました。加藤福松幹事は大変有能で、勉強し実行する幹事として今も深く私の印象に残ります。今日の実行委員長である八亀SAAの例会の食事の工夫も特筆に当たります。ざるそば、厚いトンカツ、天どん、太い老海フライと色々の美味しい料理を頂きました。他のRCでは到底味えない食事だったこと今この想出を書ながら当時を偲んで微笑んでおります。信用金庫の会場も懐しく、湯河原へ行く度に眺めます。

湯河原という古い伝統と由緒ある観光地によく密着し地域にとけこみ、RCとしてまことに均勢のとれた活動、一人一人立派な会員を擁してこの地域の人口の中でよく南RCを拡大し、堅実にして着実に然も品位あるRCとして発展され20周年を迎えられたことに、尊敬と慶びをもって重ねてお祝を申し上げます。



ご挨拶

特別代表 宮坂寛次郎

光陰矢の如し。湯河原ロータリークラブが20周年を迎えられた事は誠に慶賀に堪えません。クラブ創立に際し小田原より特別代表としてすべての設立準備にお手伝いすべきが役目でありましたが殆どお手伝いせず誠に汗顔の至りに存じます。

親クラブの小田原クラブは1954年8月14日29名のメンバーで発足、当時日本では144番目、神奈川県で5番目の順位でした。

この時の区域は一市二郡でありましたので湯河原から天野弘之さんが参加されました。

左様な次第で設立準備万端は天野さんの経験で難無く完了出来、それに会員の皆様の御協力、御努力で湯河原クラブの創立がなされたのであります。

小田原で一番困ったのは毎週一時間は厳守と云う事で、クラブ発足を逡巡させたのであります。今にして考えれば当時の小田原は俗に言えば小田原時間と称して、すべての会合は定刻には始められず、一時間位遅れるのは普通でした。これには主催者が一番困ったものでしたがロータリークラブ設立後は時間厳守の影響ですっかり改められました。

当時のロータリークラブは殆ど市部単位でつく

られており町単位では少なかったので湯河原では難しいのではないかと大変心配致したのであります。先ず人口が少ないと会員の職業分類が問題となりました。

20年という歳月は必ずしも永いとは申せませんが創立の揺籃期から20才の成人式を迎えるまでロータリアン諸君の温かいご努力を感謝し更にご活動を願う次第であります。

※ ポールハリスの言葉 ※

①多忙な人を一週に一度その事務所から誘致するには強い引力がなければならぬ。ロータリアンは奉仕する理由と意志とがある。

②世の中には金銭以上の尊いものがある。その最高の価値に位いするものは友誼である。

③ロータリーはあえて形式ばり技巧をもてあそぶことを禁じている。ロータリーは各人がその地位や身分に頓着せず平等な地位にならんで立っているからである。

④毎週の例会で与えられるものは友人の微笑に満ちた握手であるかも知れない。人は微笑に慰められてこそ人生の航路を明かに潤歩する。友情を喚び起すのもこれ又微笑である。微笑は心の中の嵐を鎮める。



お祝のことば

小田原ロータリークラブ会長 広 沢 善 一

創立20周年記念誠にお目出とうございます。
湯河原ロータリークラブ創立のスポンサークラブをつとめさせていたゞいた小田原ロータリークラブとしましても感懐一入のものがございます。心よりお慶び申し上げます。
当クラブの20周年誌をひもといてみますと小田原ロータリークラブ創立後7年目の1962年に入って湯河原箱根にクラブ設立の気運が起り、当クラブがスポンサーとなって湯河原ロータリークラブ特別代表に宮坂寛次郎さんが任命され発足の準備に入ったと書かれております。
当時天野弘之さんが小田原ロータリークラブのチャーターメンバーとして在籍されておりましたが、天野さんを中心に初代幹事を務められた加藤福松さんが文字通り寝食を忘れて創立準備に当られ同年4月20日創立総会、5月7日R I

承認というスピードで発足したわけであります。当時としては湯河原箱根と小田原ロータリークラブのテリトリーから外れ同地区のロータリアンの仲間と別れねばならなかったことなど一抹の寂しさを覚えた様ですが、今になって思えばこれらの会員がキーマンになって奉仕の輪をひろげ今日のようにロータリー活動が地域に密着して広く一般市民に理解を得るに至りましたことは御同慶にたえません。
この20年間湯河原ロータリークラブが地域社会の奉仕活動に果たした功績は湯河原町民の等しく認めるところと存じますが、成人式を迎えた本年を一つの契機として更に奉仕の輪をひろげ益々の御発展あらんことを念じお祝の言葉といたします。



湯河原ロータリークラブ20周年に 際して思う

湯河原南ロータリークラブ会長 勝 孝次

湯河原クラブの皆様、20周年おめでとうございます。一口に20周年と申しましても、喩話して10年一昔と申します。当時誕生した子供も成人式を迎える年令に成長して居る様に、貴クラブは御立派な成人クラブに御成長されたのであります。今後増々社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕・クラブ奉仕にと御活躍、御発展される事と拝察申し上げます。

親クラブである湯河原クラブ共々、私共クラブも奉仕の理想と親睦の輪を広げて行きたいと常々願って居る次第であります。どうか私共クラブと今後増々親睦を深めて下さいませ、御願申し上げます。

私事で申訳ありませんが、私の様な者がロータリーの一員と成りましたのも、湯河原クラブから南クラブが分立した御蔭で、湯河原・真鶴の多くの方々と知遇を得る事が出来ました。大変感謝致して居ります。

私がロータリーを知ったのは、小学1年か2年生の頃だったと思うのですが、当時日曜学校へ出席していた私達が、名古屋クラブの創立式典に（チャーターナイトと思うのですが）招待され、歌をうたった時であります。歌の内容等はすっかり忘れましたが、名古屋の大会社の社長さん達が、奉仕の為に（こまった人を助けると言った意味）出来た会で、参加した御礼にケーキを頂いて嬉しかった事だけ今でも思い出

ます。それが、私のロータリーとの出合の最初です。

40年後、はからずも湯河原南クラブが創立する時入会を勧められ、ロータリアンの一員になりました。これも何かの奇縁だと思い、微力ですが努力致して居る者でございます。

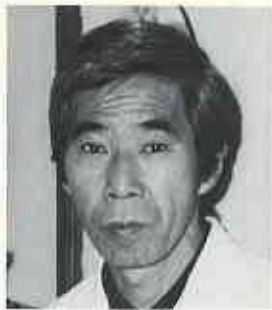
私はロータリーがクラブ主体であり、クラブは個人主体である点、人と人とが横のつながりを重視し、下部から上部に組織が出来ている点その活動目標が奉仕であり、個々の奉仕から組織の奉仕へと発展させる点、それが他人への奉仕活動と共に自己の進歩へとつながる点等、其れ等の思想が私は大変好ましく思っています。

昔から他人に善意をしてあげる時は、その行為の報酬を求めては好しくない。それは他人の為ではなく、いずれは誰からか自分の為にしてもらう事が有るからと申します。全ったく其の通りだと思えますし、ロータリーの奉仕の精神に通じ、それは真髓だと思えます。

まことにつまらぬ事を書き失礼致しました。終りに貴クラブの優秀な皆様がロータリー綱領のもと、増々奉仕の理想の実践に邁進されます様蔭乍ら御祈り申し上げます。

湯河原ロータリークラブの20周年記念を南クラブ会員一同を代表致しまして、心から御祝い申し上げます。

おめでとうございます。



雑感

湯河原ロータリークラブ チャーターメンバー 平間茂夫

“ 渡り来し浮世の橋を眺むれば、さてもあやうく過ぎにけるかな ” (秋田 実)

湯河原ロータリークラブが満20年を迎えるに当り、私自身よく此処まで皆様と御一緒させて戴けたなあ—とつくづく考えて居ります。

湯河原ロータリークラブの生みの苦しみ等は、天野さんや加藤さんのお話によくお聞きいたしますが、舞台裏の事は分からず、唯加藤さんから「何も云う事はありません。週一回の昼食に出席して頂ければ……」の言葉に誘われ、又一つには職業柄、井の中の蛙になるのがつまらなく入会させて頂いた様な次第です。

当時35才の青二才の私が(現在も同じ様なものですが)よもや20年も在席するとは夢にも思わず入会一年目に風邪やら腹痛やらで2回程気軽に休んでしまったのが今になると取り返しがつかぬ様に思う此の頃です。



当時はゴルフをやっておりませんで一年の内1~2回は病気で必ず寝込む事があり、ロータリーに入ってから直居先輩の勧めもあってゴルフをやってからは御蔭様で健康そのものです。会員の方々には私が院長兼小使と云う立場上何かにつけて庇って頂き、今日まで大過なく御一緒させて頂けた事は感謝して居ります。

振り返ってみますとチャーターナイトの時、雨の中湯河原小学校運動場でカップに長靴で駐車整理に追われ、後で見たら記念写真集には一枚も写っていなかった事や、他所のチャーターナイトには必ず運転士で出席し、先方で運転士と本当に間違えられたり、今は亡くなられた会員だった方々の事等が思い出されて来ます。

此の様子では今后何年御一緒させていただくかわかりませんが皆様と共に湯河原ロータリークラブが一層充実したクラブになります事を願いつつ拙い筆をとめます。

◀ 創立総会中のスナップ。現在から20を引くところなるという写真。八亀広蔵さんが後ろを向いているのがおしい。

湯河原ロータリークラブ創立20周年

記念式典プログラム (13:00-14:20) 司会 式典幹事 高橋 実

点 鐘 会長 及川 修助
 国歌斉唱 ソングリーダー
 ロータリーソング (奉仕の理想) 吉光 関爾
 開式のことば 実行委員長 八亀 昌美
 会長挨拶 会長 及川 修助
 来賓紹介 会長 及川 修助
 物故会員に対して黙禱 式典幹事 高橋 実
 式典委員長挨拶 式典委員長 天野 弘之
 記念事業披露 記念事業委員長 春宮 寛治
 目録贈呈 式典委員長 天野 弘之
 記念表彰・感謝状贈呈 会長 及川 修助
 来賓祝辞 第259地区ガバナー 渡辺嘉造伊殿
 特別代表 宮坂寛次郎殿
 創立時分区分代理 岩崎 裕俤殿
 スポンサークラブ会長 広沢 善一殿

祝電披露 式典SAA 浜野 一春
 閉式のことば 式典副委員長 八亀 広蔵
 ロータリーソング (我等の生業)
 ソングリーダー 吉光 関爾
 点 鐘 会長 及川 修助
 諸事おしらせ 式典SAA 浜野 一春
 エキスカーション (桜見物) 14:20~16:05
 祝 宴 16:20~17:50 司会 稲葉 隆
 開宴のことば 実行副委員長 岩井徳太郎
 お祝のことば パストガバナー
 乾 杯 第八分区分代理 井上 善雅殿
 祝 宴
 余 興
 万才三唱 ガバナーノミニー 加藤宗兵衛殿
 閉宴のことば 加藤 福松
 ロータリーソング (手に手つないで)
 ソングリーダー 吉光 関爾

記念事業内容

1. ロータリー財団基金寄附
2. 米山記念奨学会基金寄附
3. 湯河原高校々庭内植樹
ミモザアカシア等
4. 湯河原高校へ天幕三式寄附

■ 来賓、招待

ガバナー

直前ガバナー

パストガバナー

パストガバナー

同

同

同

同

同

ガバナーノミニ

地区幹事

第八分区代理

渡辺嘉造伊殿

加藤 進治殿

湯浅 恭三殿

蘆 正太郎殿

白山源三郎殿

大沢伊三郎殿

石川 吉殿

今井友之助殿

蔵並 定男殿

加藤宗兵衛殿

難波喜久寿殿

井上 善雅殿

元分区代理

同

同

同

同

同

スポンサークラブ会長

箱根クラブ会長

小田原北クラブ会長

小田原城北クラブ会長

今井徳左衛門殿

蓑島 清夫殿

古谷顕一郎殿

高橋 謙作殿

吉田 健殿

松島 計介殿

広沢 善一殿

佐藤 正義殿

村山 啓造殿

飯山 耕三殿

元R I会長

第275地区パストガバナー

アジア地区諮問委員会委員

R I日本支局長

東ヶ崎 潔殿

佐久間長吉郎殿

安野 譲次殿

拙冬 忠殿

認承時地区拡大委員長

創立時分区代理

特別代表

認承時スポンサークラブ会長

同

清瀬 二郎殿

岩崎 裕俸殿

宮坂寛次郎殿

柴田 吟三殿

井上 仙蔵殿

小田原中クラブ会長

湯河原南クラブ会長

熱海クラブ会長

熱海クラブ元会長

熱海南クラブ会長

小田原クラブ幹事

箱根クラブ幹事

小田原北クラブ幹事

小田原城北クラブ幹事

小田原中央クラブ幹事

湯河原南クラブ幹事

熱海クラブ幹事

熱海南クラブ幹事

梅津 忠雄殿

勝 孝次殿

瀬戸 三晴殿

山田 知殿

岡田 善一殿

土屋賢太郎殿

田中 英之殿

鈴木 匡殿

宝子山知行殿

相原 振作殿

高橋源太郎殿

松井 清殿

手塚 英一殿

使者御芳名 ■

湯河原町長	杉山 実殿
湯河原町会議長	市川 公造殿
湯河原ライオンズクラブ会長	室伏 栄一殿
湯河原ワイズメンクラブ会長	高知尾朝行殿
湯河原高校々長	志村多見彦殿

湯河原南ロータリークラブ

青木 正雄殿	石井 和彦殿	熊本 三郎殿
青木 隆治殿	石井 敏高殿	阿久津迪夫殿
青木 和夫殿	石黒 一栄殿	力石喜美男殿
朝倉富士雄殿	泉川 唯夫殿	三輪 栄一殿
遠藤 亮介殿	亀川 芳次殿	内藤 三郎殿
福田 俊夫殿	加藤 幸夫殿	小沢 康男殿
杉山 英雄殿	掬川 三男殿	杉山 貞夫殿
二見 哲夫殿	近藤 勇殿	常盤 章夫殿
五味 淳芳殿	石田 幹雄殿	露木 隆造殿
原 小作殿	金川 昇殿	寺田 末作殿
平井 敏正殿	加藤 力蔵殿	脇山 長男殿
広沢 清光殿	肥川治一郎殿	

報導関係

伊豆毎日新聞殿
相豆新聞殿
神静民報殿
タウンたん湯河原殿

湯河原ロータリークラブ歴代役員表

代 数	年 数	会 長	副 会 長	幹 事
初 代	1962 ~ 63	天 野 弘 之	小 沢 栄三郎	加 藤 福 松
二 代	1963 ~ 64	天 野 弘 之	小 沢 栄三郎	加 藤 福 松
三 代	1964 ~ 65	小 沢 栄三郎	直 居 重 雄	八 亀 昌 美
四 代	1965 ~ 66	直 居 重 雄	榎 原 正 愛	杉 山 実
五 代	1966 ~ 67	榎 原 正 愛	八 亀 広 蔵	五 味 淳 芳
六 代	1967 ~ 68	八 亀 広 蔵	相 沢 安 信	稲 葉 隆
七 代	1968 ~ 69	高 橋 柳 吉	加 藤 福 松	三 輪 宣 照
八 代	1969 ~ 70	吉 光 閔 爾	平 間 茂 夫	八 亀 民 夫
九 代	1970 ~ 71	加 藤 福 松	大久保 甫	浅 田 真 章
十 代	1971 ~ 72	八 亀 昌 美	稲 葉 隆	林 武 蔵
十一代	1972 ~ 73	杉 山 実	五十嵐 寅 治	岩 井 徳太郎
十二代	1973 ~ 74	浅 田 真 章	丹 羽 康 之	石 川 雅 雄
十三代	1974 ~ 75	林 武 蔵	菅 原 宏	西 山 清
十四代	1975 ~ 76	稲 葉 隆	及 川 修 助	西 山 晃 一
十五代	1976 ~ 77	西 山 清	岩 井 徳太郎	春 宮 寛 治
十六代	1977 ~ 78	岩 井 徳太郎	平 間 茂 夫	近 藤 保
十七代	1978 ~ 79	平 間 茂 夫	吉 田 充	高知尾 朝 行
十八代	1979 ~ 80	吉 田 充	大久保 甫	伊 藤 邦 彦
十九代	1980 ~ 81	大久保 甫	及 川 修 助	西 山 晃 一
二十代	1981 ~ 82	及 川 修 助	黒 須 正 夫	高 橋 実

◎ 出席優秀クラブ



▲湯河原ロータリークラブは創立以来、常に出席優秀クラブの伝統を持っています。毎年の地区大会に於いて表彰を受けた記念すべき出席優秀バナーを持って。※57-2-26

会員の出席率

1964 ~ 65 年度	98.47 %	10 位
1966 ~ 67 年度	99.41 %	8 位
1968 ~ 69 年度	99.82 %	3 位
1970 ~ 71 年度	99.88 %	3 位
1971 ~ 72 年度	99.70 %	3 位
1972 ~ 73 年度	99.30 %	6 位
1973 ~ 74 年度	99.87 %	3 位

1974 ~ 75 年度	99.56 %	10 位
1975 ~ 76 年度	98.86 %	10 位
1976 ~ 77 年度	99.65 %	8 位
1977 ~ 78 年度	100.00 %	1 位
1978 ~ 79 年度	100.00 %	1 位
1979 ~ 80 年度	100.00 %	1 位
1980 ~ 81 年度	100.00 %	1 位

◎ 湯河原ロータリークラブ20年の思い出

創立15周年記念式典スナップ

昭和52年4月15日創立15周年記念式典が盛大に行なわれた。

準備万端ととのった湯河原観光会館の大広間に西山会長の点鐘、吉光君のソングリーダーに依る国歌斉唱と奉仕の理想……

御招待者の祝辞



▲15年皆勤表彰者たち、この人達。今回20年でも表彰を受ける天野、八亀(広)、加藤、八亀、吉光の諸君。



▲吉光君のソングリーダーに依る国歌斉唱と奉仕の理想



▲第2部祝宴でなごやかに。



▲10年以上皆勤表彰。高橋(柳)、五十嵐、丹羽、平間、稲葉、大久保の諸君。

◎ 社会奉仕委員会事業

自然保護の立場から生れた、当クラブ10周年記念事業として城山山頂附近に植樹した。“山モミジ”の山の育成を毎年継続事業として行って来た。10年間の会員の汗の奉仕によって大きく育って行く“山モミジ”の下草刈りや肥料など保護管理を会員全員が出てカマを手に現在もつづけられている。



▲炎天のもと下草刈



▲植樹の様子、今は亡き榎本さんの姿がある。



▲植樹作業の合間



◀パストガバナー鱸正太郎さんも陣中見舞に見えて楽しく食事に参加された。



▲山もみじの苗に施肥



▲帽子のごほうび